

# ルックバック：近代 洋画

LOOK BACK: Japanese Modern Painting

## LOOK BACK: Japanese Modern Painting



藤島武二《大王岬に打ち寄せる怒濤》1932(昭和7)年

——ひたすら描いた。がむしやらに向き合った。

2025年4月26日[土]—7月6日[日]

三重県立美術館 Mie Prefectural Art Museum

開館時間 9時30分—17時(入館は16時30分まで)  
休館日 毎週月曜(ただし、5月5日は開館)、5月7日[水]  
主催 三重県立美術館  
助成 公益財団法人三重県立美術館協会

コレクションによる特別展示

Special Exhibition of Works from the Collection

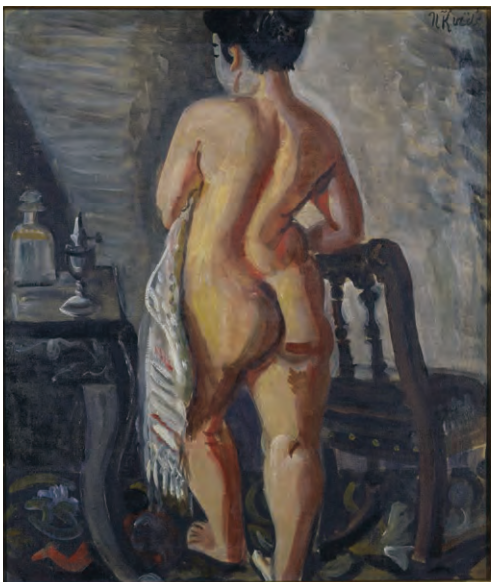
# ルックバック：近代洋画

LOOK BACK: Japanese Modern Painting

日本が急速に近代化を推し進めた19世紀後半、西洋からはさまざまな技術や思想がもたらされました。その波は美術の分野にも到来します。幕末から明治初期には、西洋風の絵画を志す画家たちが次々と出て、日本でも本格的に油絵をはじめとする西洋式の絵画の学習が進みます。明治期には、美術を専門的に学ぶための学校や画塾が創設され、また海外へ出て絵画を学ぶ者もあらわれ、西洋画は新来の絵画として発展していきます。

彼らが描いた絵は、もともと日本にあった伝統的な画法を用いた「日本画」と対になるようにして、やがて「洋画」とよばれるようになります。画家たちは近代という大きなうねりの中、西洋から多くを学びつつ、試行錯誤を重ねながら、日本独自の洋画を生み出してきました。

三重県立美術館では、洋画をコレクションの収集方針のひとつに掲げて収集と調査研究活動を行い、洋画や洋画家に焦点をあてた展覧会を数多く開催してきました。本展覧会では、当館のコレクションの中でも重要な位置を占める洋画を軸に、明治から昭和前期までを振り返り、近代美術の魅力に迫ります。



左上から時計回りに：小出橋重《裸女立像》1925（大正14）年／村山槐多《自画像》1916（大正5）年／清水登之《ロシアダンス》1926（大正15／昭和元）年／佐伯祐三《サンタンス教会》1928（昭和3）年

—— ひたすら描いた。がむしゃらに向き合った。

コレクションによる特別展示

Special Exhibition of Works from the Collection

2025.4.26 sat—7.6 sun

【観覧料】

一般700(500)円／学生600(400)円  
高校生以下無料

( )内は20名以上の団体割引料金

・「美術館のコレクション」、柳原義達記念館もあわせてご覧いただけます。

・生徒、学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。

・障害者手帳等(アプリ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。

・教育活動の一環として県内学校(幼・小・中・高・特別支援)および相当施設が来館する場合、引率も観覧無料(要申請)。

・5月18日[日]、6月15日[日]の「家庭の日」は団体割引料金でご覧いただけます。

【次回の企画展(予定)】

没後90年 橋本平八展

2025年8月2日[土]—10月13日[月・祝]

## 三重県立美術館

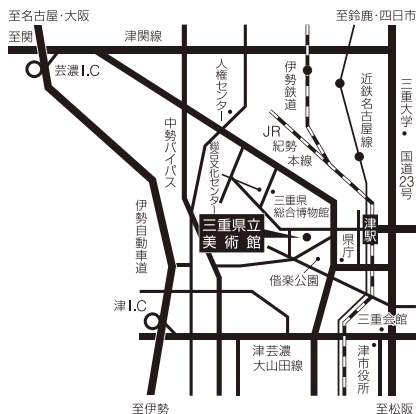
Mie Prefectural Art Museum

〒514-0007 三重県津市大谷町11

TEL 059-227-2100 FAX 059-223-0570

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>

Follow us on X @mie\_kenbi



【交通案内】

津駅(近鉄・JR)西口より徒歩約10分。または、津駅西口1番のりばより三重交通バス「西団地循環」、「津西ハイタウン行き(むつみ・つつじ経由)」、「夢が丘団地行き(総合文化センター前経由)」、「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約2分、「美術館前」下車徒歩約1分。駐車場もご用意していますが、できる限り公共交通機関をご利用ください。

